

緊急物資

関連のしおりをご覧ください。

- 自宅の対策
- 緊急用の水
- 個人および家族の災害対策

詳細は、Take5toSurvive.com をご覧ください

緊急事態はいつでも発生する可能性があります。「準備ができている」とは、手元に緊急物資が用意できていることを意味します。緊急物資は、ペットを含む家族全員のニーズを満たす必要があります。職場や学校、車など、多くの時間を過ごす場所に物資を準備することを検討してください。

以下の緊急物資が必要です



自宅の場合
2週間分



職場/学校の場合
1日分



車の場合
1日分



自宅の場合 - 2週間分の緊急物資

便利な物資:

自宅の場合
手動クランク式AM/FM/NOAA気象ラジオ。懐中電灯に内蔵されたラジオまたは携帯電話充電器を備えたラジオもあります。

職場/学校の場合
モバイルバッテリー。電源が切れた場合、携帯電話を複数回充電できます。これらは移動時にも便利です。

車の場合
ヘッドランプ。緊急物資を集めたり、修理をしたりするときに自由に手を使えます。

必須

- 水 - 1人1日あたり1ガロン
- 保存期間が長い食品と缶切り
- 応急処置セット
- 懐中電灯
- 消火器
- 水フィルターと消毒用品

あると便利なもの

- 個人衛生および衛生用品
- 緊急トイレ (EmergencyToilet.org)
- 小額のお札
- ユーティリティをオフにする工具 (レンチまたはペンチ)
- バッテリー式ラジオ
- 予備バッテリー

個人により必要なもの

- 処方薬
- 乳児用品
- ペット用品
- 予備メガネ
- 重要書類のコピー
- 毛布または暖かい服
- ゲーム



職場/学校の場合 - 1日分の緊急物資

職場や学校など、毎日どこかで多くの時間を過ごす場合は、「持ち出しバッグ」に必須の緊急物資を入れておく必要があります。バッグに入れるものは次のとおりです:

- 水 - 1ガロン
- 食品または高エネルギーのお菓子

- 応急処置セット
- 処方薬
- 小額のお札

- 携帯電話の充電器またはモバイルバッテリー
- 着替え



車の場合：1日分の緊急物資

車に緊急物資を準備することで、命が助かります。これらの物資は、消灯/低照度の乾燥した場所で、袋に入れて保管します。季節ごとの必需品も含めてください。

常に含めるもの

- 水 - 簡単に解凍できる小さなペットボトル
- 食品または高エネルギーのお菓子
- 応急処置セット
- 懐中電灯またはヘッドランプ
- ジャンパーケーブル
- 工具（タイヤの交換または基本的な修理用）
- 携帯電話充電器
- 発炎筒または反射ハザードトライアングル
- 丈夫な靴

夏用の必需品

- 予備の水
- 日焼け止め
- 扇風機

冬用の必需品

- 暖かい服と雨具またはポンチョ
- アイススクレーパー
- チェーンまたはその他のけん引装置
- 小さなシャベル

緊急物資：プロからのアドバイス

- セール時に物資を購入することで、節約できます。お得なディスカウントストアを確認してください。
- 取り出しやすく、涼しく乾燥した場所に物資を保管します。車の中では、物資に光が当たらないようにしてください。
- 緊急物資が保管されている場所を家族全員に伝えてください。
- 食品に有効期限を書いてください。夏時間の開始日と終了日に食品の日付を確認し、必要に応じて交換します。
- 「持ち出しキット」として自宅に3日間分の物資を保管してください。リュックサックまたは持ち手付きの布製ショッピングバッグが最適です。
- 家族、友人、近所の人たちを説得して話し合い、このしおりを共有して準備を整えましょう。

